

Katsuyama

KATSUYAMA HIGH SCHOOL NEWS

vol.57

2025.12



Contents

| | | | |
|--------------|-----|----------|---|
| 同窓会会長挨拶・校長挨拶 | 2 | 同窓会会計決算書 | 5 |
| 同窓会役員 | 3 | 母校だより | 6 |
| 活躍する卒業生 | 3 | 活躍する部活動 | 7 |
| 本部総会のお知らせ | 3 | 進学・就職実績 | 8 |
| 同窓会だより | 4～5 | 事務局だより | 8 |



同窓会会長
山下 豊

同窓生の皆様、大変ご無沙汰いたしております。

令和7年も酷暑や風水害等様々な自然災害がありましたが、皆様お変わりありませんでしょうか。お伺い申し上げます。

平素は勝山高校、勝山高校同窓会に対し格別のご支援、ご協力を賜り心から御礼申し上げます。

さて、我が勝山高校も今まさに大転換期を迎えております。市内の高校を再編するという県教育委員会の方針に対し、真庭市始め地域を挙げて反対をしたわけですが、高校再編は既定の路線として動き始めています。高校は一つになり、今までの三つの校地は変わらず残す、という可能性もあるかもしれません。どんな学校にするか中身についてはこれから二校の校長始め先生方、市と県などからなるプロジェクトチームで検討協議し、新たな時代に対応した魅力ある高等学校をつくる、ということです。

市内の高校が合併する度に志願者が減り定員割れを起こしたことからすると、また今までのようになるのではという懸念はありますが、勝山高校も定員割れが続いており令和7年度から定員が160名から120名に減ったにもかかわらず大幅な定員割れ。少子化が想定外のスピードで進んでおり、さらには市内の中学生の約55%は真庭市外の高校へ進学しており、その傾向は更に拍車が掛かっております。

こういう状況を鑑みると、再編整備に反対ということではなく、子どもたちにとっても、地域にとっても理想に近い素晴らしい高校ができるよう同窓会も協力し意見を申し上げるという方向に転換したいと思います。

子どもたちの夢や希望をこの真庭で実現しようと頑張る子どもたちを増やすよう子や孫、地域に働き掛けることも我々の大きな仕事の一つだと思います。

地域にとって必要不可欠な勝山高校です。重ねて皆様の強力な応援をお願い申し上げます。

終わりに皆様のご多幸、ご健勝並びに勝山高校の更なる健闘を祈念しご挨拶といたします。



校長
瀬島 美穂

同窓生の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素から本校の教育活動に格別の御理解と御支援を賜り、心より感謝申し上げます。本年度校長として赴任いたしました瀬島です。着任して半年あまりの間、同窓会関係や地域での諸会議等に参加させていただく中で多くの同窓生の皆様にお目にかかることができました。皆様からは母校への熱い想いを様々な言葉で頂戴しており、その都度、本校が地域と社会に貢献できる多くの人材を輩出してきたことと、地域を支える高校としての役割の大きさを実感しているところでございます。

生徒は元気に高校生活を送り、学習や学校行事、部活動、地域活動に意欲的に取り組んでいます。5月の鼓山祭体育の部、10月の文化の部も生徒会を中心に生徒自身で企画し、実施することができました。特に本年度は、真庭市の御支援によりオーストラリア研修が実現しました。真庭高校、勝山高校蒜山校地の生徒と共に本校から11名の生徒が参加し、2週間のホームステイと研修を経験させていただきました。生徒の活躍の様子は、後のページで紹介させていただきます。

さて、全国的に少子化が急速に進んでいますが、その波は本校にも少なからず影響を及ぼしています。令和4年度にはビジネス科の募集が停止され普通科のみとなり、本年度からは3クラス120名定員で生徒募集を行っています。現在、本校には1年次生89名、2年次生107名、3年次生107名が在籍しています。入学する生徒も年々多様化し、普通科とはいえ在校生の希望する進路は4年制大学等への進学だけではなくなります。そこで、生徒の多様なニーズに応えるため現在の1年次生からコース制を実施することになりました。生徒は2年次に人文・自然コースを選択します。3年次にはさらに人文Ⅰ・人文Ⅱ、自然Ⅰ・自然Ⅱと選択肢を広げ、共通科目に加え芸術やデータサイエンス、スポーツ等の科目も選択できるように教育課程を変更しました。これまでに実績を積んできた総合的な探究の時間「夢現プロジェクト」を“生き方”を学ぶ軸に据え、様々な教科の学びや「教員養成プログラム」等の特徴ある取組を活かし、全ての生徒の希望進路の実現を目指してまいります。

最後になりましたが、同窓生の皆様方のますますの御活躍を祈念し、挨拶とさせていただきます。

同窓会役員

| 役名 | 氏名 | 卒期 |
|---------|-------|-------|
| 会長 | 山下 豊 | 高20 |
| 副会長 | 太田 詳子 | 高17 |
| 副会長 | 三船 昌行 | 高17 |
| 副会長 | 吉永 忠洋 | 高25 ★ |
| 副会長 | 宮島 敦子 | 高27 |
| 副会長 | 保科 英子 | 高32 |
| 副会長(校長) | 瀬島 美穂 | ★ |
| 監事 | 長尾 卓洋 | 高29 |
| 監事 | 綱島 直彦 | 高30 |

| 役名 | 氏名 | 卒期 |
|---------|-------|-------|
| 会計(事務長) | 平井 晶 | ★ |
| 東京支部長 | 井上 光一 | 高33 |
| 関西支部長 | 水島 隆 | 高28 |
| 岡山支部長 | 内山 満義 | 高22 |
| 津山支部長 | 二木 浩 | 高32 |
| 大佐支部長 | 森部 康英 | 高27 |
| 新庄支部長 | 新家 道正 | 高33 |
| 北房支部長 | 上田 幸恵 | 高28 ★ |
| 落合支部長 | 葛尾 公照 | 高44 |

| 役名 | 氏名 | 卒期 |
|-------|-------|-------|
| 久世支部長 | 石村 修 | 高30 |
| 勝山支部長 | 森本 昭夫 | 高21 |
| 月田支部長 | 植田 隆之 | 高31 ★ |
| 富原支部長 | 米山 孝 | 高27 |
| 美甘支部長 | 戸田 典宏 | 高36 |
| 湯原支部長 | 横辺 由江 | 高34 |
| 中和支部長 | 由井 堅史 | 高30 |
| 八束支部長 | 小谷 仁志 | 高30 |
| 川上支部長 | 植木 啓司 | 高27 |

★印は新規就任

活躍する卒業生



Fukuda Yasuko

福田 恭子

高57回(平成18年卒)
箏曲演奏家

来年度の当番幹事は、平成7年3月卒業の皆様方です。ご協力よろしくお願いします。

日時 令和8年8月9日(日) 10時

場所 勝山高校会議室

懇親会 12時より 会場 勝山文化センター

令和8年度
本部総会の
お知らせ

部長も務め、最後まで部活を辞めずに続けられたのは、バドミントンが好きだったことに加え、切磋琢磨できる仲間がいたからです。一人で楽器に向かう時間と、仲間と目標を追う楽しさで、心と体のバランスが保たれていました。

しかし、受験の現実は厳しく、1年間の浪人を経験しました。浪人時代は、まるで洞窟に迷い込み、見えない出口を探し続けるような苦しい時間でした。藝大に入学後も、周囲とのレベルの差にコンプレックスを感じ、練習と研究を重ねました。この時期の苦労と努力が、今の演奏活動の礎となり、このような経験が時を経て必ず心の支えとなると強く感じています。

藝大時代には海外での演奏も経験し、音楽を通じて交流できることに大きな意義を見出すことができました。演奏家となった今、箏や三味線の生の音色を届ける活動を続けています。5年前に息子が産まれてからは、子どもたちの豊かな心を育むために音楽の力が必要だと考え、0歳から聴けるコンサートも開催しています。

今やインターネットで何でも聴ける時代だからこそ、目の前で音楽や芸術を鑑賞することの価値は計り知れません。同じ空間で生の音を感じることで、心の共有によるコミュニケーションが生まれると信じています。

また、先日の芸術鑑賞会で勝高生の生き生きとした姿に出会い、これからの未来を担う若い世代が、周囲と関わり合いながらも、自分の道をまっすぐ信じて歩んではほしいと心から願っています。

同窓会だより

同窓会を終えて

今回、母校同窓会の幹事を務めさせてもらいました。きっかけは昨年の春、前代表の杉本さんから「頼むぞ！」と声をかけられたことでした。正直、自分に務まるのか不安もありましたが、仲間と一緒に何とかなるだろうと思いスタートしました。

本格的に準備を始めたのは今年1月。月に一度の会議を重ねながら、みんなで意見を出し合い、笑い合い、ときには悩みながら準備を進めました。心配ごとは多かったけれど、幹事のみんなが自分の役割をしっかりこなしてくれたおかげで、最後は「これなら大丈夫！」と安心して当日を迎えることができました。

同窓会当日は雨にもかかわらず、同窓生60名、恩師3名を含む96名が集まりました。久しぶりの再会にあちこちで笑い声があふれ、本当にぎやかなひとときでした。太田

普通科代表 黒田 竜也 高45回(平成6年卒)



令和7年度 勝山高等学校同窓会(令和7年8月10日)

昇市長からは地元高校の現状についてお話をいただき、改めて同窓会の意味を考える機会にもなりました。

何より今回の会が無事に開催できたのは、一緒に走り抜けてくれた幹事の仲間たちのおかげです。心から「ありがとうございます」と伝えたいです。そして参加してくださった皆さんにも感謝です。このご縁を大切に、これからも同窓生のつながりが広がっていけばうれしいです。

東京支部総会・懇親会報告

東京支部では、令和7年6月22日(日)にとっとり・おかやま新橋館にて、支部総会と懇親会を開催いたしました。物故者のご冥福をお祈りしたのち、勝山より遠路お越しくださいました山下会長のご挨拶、瀬島新校長の祝辞を賜り、佐田先生と山田先生から勝山高校の近況報告をいただきました。

梶岡様(昭和35年卒)には素敵なお話ののち乾杯の音頭をとっていただき懇親会がスタート、今回初めて参加の方



関西支部の現況

支部長 水島 隆 高28回(昭和52年卒)

令和7年6月8日、新大阪ワシントンホテルプラザにて第66回勝高関西支部同窓会総会を開催しました。当日は、山下同窓会会長、吉原副校長、佐田教諭、山田教諭、岩元さん(昨年度本部幹事)、中山岡山県大阪事務所長をご来賓に迎え、総勢42名の方々にご参加いただきました。総会では、令和6年度の活動報告・決算報告や令和7年度の事業案・予算案を審議したほか、人事異動では会計監事の大坂さんご逝去に伴い、その後任として堀尾(旧姓:高見)さんにご就任いただきました。懇親会では物故者への黙祷、ご来賓挨拶、乾杯、歓談と続き、ビンゴゲームでは大いに盛り上がりました。最後は山本さんの応援エール、校歌斉唱、集合写真で締めくくった次第です。なお、中山所長のお母さまが月田ご出身とのことで、地元の話題でも華を添えていただきました。

ところで、関西支部では若い方々の参加を促すため、ホームページを開設しました。

支部長 井上 光一 高33回(昭和57年卒)

も含めて32名での会となりました。

数名の方には素敵なお話を披露いただき、誠にありがとうございました。

私の力不足もあり内容的には代り映えのない会となりましたが、それでも一年に一度、こうして会えることで、あの頃に戻れ、何物にも代えがたい時間を過ごすことができたと思っています。

なお、8月の本部総会で報告させていただきましたが、来年度より東京支部長を高谷和宏(昭和58年卒 高34期)にバトンタッチさせていただくことになりました。引き続きよろしくお願いいたします。

来年度は2026年(令和8年)6月13日(土)か20日(土)または前後の土曜日、同じ場所で開催予定ですので、是非ともご参加いただけすると嬉しいです。最後に皆さまのご健康と益々のご繁栄を祈念申し上げます。



URLはhttps://note.com/katsuyama_hs

ですのでぜひアクセスの上、フォロー&シェアしてください。さらにメーリングリストを作って、適宜情報発信を行っています。今後も交流を深めながら活動を続けていきますので宜しくお願いします。



湯原支部第11回総会・懇親会報告



湯原支部は令和7年10月24日に、湯原温泉「湯快感花やしき」にて2年ぶりとなる11回目の支部総会・懇親会を開催しました。当日は地域の宵祭りと重なり参加者は例年より少なめでしたが、少ないからこそその密度の濃い話も聞けて、大いに盛り上りました。

総会では横辺由江支部長の挨拶の後議事に入り、来賓と

事務局 伴野 良子 高34回(昭和58年卒)

して山下豊同窓会長(昭和44年卒)、瀬島美穂校長からご挨拶をいただきました。津山支部の二木支部長からも素敵なお花が届いたので、一緒に記念撮影。その後、懇親会に移りました。

乾杯は、前湯原支部長の三船昌行同窓会副会長の発声でスタートしました。懇親会では、それぞれが自己紹介を兼ねて高校時代の思い出やエピソード、近況報告など、たくさん話す時間がとれました。地元出身の宮島敦子同窓会副会長(昭和51年卒)、保科英子同窓会副会長(昭和56年卒)、山田雅之先生(平成15年卒)からも懐かしいお話が聞け、終始笑いが絶えない楽しい会となりました。初代商業科卒の大先輩からは、初めて聞く軟式野球部の話や、部活動、寮生活、先生方や先輩など、世代を超えての話は尽きず、楽しい時間を過ごしました。懇親会では話足らず、2次会でもしっかり交流が出来ました。

次回の開催はいつとは言えませんが、「勝山高校」というつながりを大切に、それまで健康で一人でも多くの方と再開できますように願い散会しました。

岡山支部総会・懇親会報告

岡山支部では、令和7年11月16日(日)にサン・ピーチOKAYAMAにて、支部総会と懇親会を開催いたしました。本部同窓会から山下豊同窓会長、学校から瀬島美穂校長と校内幹事佐田晃彦先生の3名をお迎えしました。岡山支部は3年に一度の開催となります。

総会では、校歌斉唱、物故者への黙祷、岡山支部長挨拶、来賓挨拶・紹介の後、議事に移りました。議事では、令和4~6年度の事業・会計報告、令和7~9年度の事業計画・予算(案)について行われ、承認後に懇親会に移りました。

来賓の山下同窓会長や瀬島校長からは、真庭地域の高校の状況や、県立高校再編整備についての現在の状況・方針等の話ををしていただき、佐田先生からは現在の勝山高校の生徒の様子等を伺いました。いずれにしても、想定以上に少子化が進んでいっていると思います。懇親会の途中では、参加者一人一人から近況報告もしてもらい、大いに盛り上りました。会全体を通して、私が望む本当に楽しい、ゆ

支部長 内山 満義 高22回(昭和46年卒)

かいな仲間だと実感しました。

私は、岡山支部の今までにない活性化を望んでいます。若い後輩達が集いに来られるように努力致します。皆様同窓生の協力をよろしくお願い致します。



令和6年度 同窓会会計決算書

収入の部 (単位:円)

| 科目 | 予算額 | 収入済額 | 比較増減(△) | 摘要 |
|-------|-----------|-----------|-----------|------------------|
| 繰 越 金 | 1,309,467 | 1,309,467 | 0 | 令和5年度からの繰越金 |
| 繰 入 金 | 210,642 | 210,642 | 0 | 同窓会会報会計残金 |
| 生徒入会金 | 510,000 | 510,000 | 0 | 5,000円×102名 |
| 賛 助 金 | 2,068,000 | 1,758,000 | △ 310,000 | 745件 |
| 雑 収 入 | 891 | 477 | △ 414 | 預金利息、寄付、同窓会名簿販売代 |
| 合 計 | 4,099,000 | 3,788,586 | △ 310,414 | |

支出の部

(単位:円)

| 科 目 | 当 初 予 算 額 | 流 用 額 | 予 算 現 額 | 支 出 残 額 | 残 額 | 摘要 |
|-------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|
| 同 窓 会 | 広 告 費 | 50,000 | 64,000 | 114,000 | 113,190 | 810 |
| | 旅 費 | 180,000 | 0 | 180,000 | 179,580 | 420 |
| | 会 議 費 | 100,000 | 0 | 100,000 | 64,000 | 36,000 |
| | 慶 弔 費 | 40,000 | 0 | 40,000 | 17,160 | 22,840 |
| | 通 信 費 | 30,000 | 0 | 30,000 | 12,592 | 17,408 |
| | 助 成 費 | 250,000 | △ 64,000 | 186,000 | 160,880 | 25,120 |
| 会 報 | 需 用 費 | 100,000 | 0 | 100,000 | 88,141 | 11,859 |
| | 賛助金振込手数料 | 104,000 | 33,000 | 137,000 | 136,724 | 276 |
| | 会報発行費 | 1,902,000 | △ 33,000 | 1,869,000 | 1,863,414 | 5,586 |
| | 口座振込手数料 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 |
| 予 備 費 | 1,342,000 | | 0 | 1,342,000 | 394,971 | 947,029 |
| 合 計 | 4,099,000 | | 0 | 4,099,000 | 3,030,652 | 1,068,348 |

収入済額3,788,586円-支出済額3,030,652円=残額757,934円(令和7年度へ繰越)

母校だより

第26回 鼓山祭

今年度も、勝山高校の一大行事である鼓山祭が盛大に開催されました。スローガンは「吐く息はCO₃～魅せろ3色魂～」。この“CO₃”には、学校祭「鼓山」の語呂に加え、応援の声や動きをそろえて一体となる姿、そして赤・黄・青の三団が心をひとつにする願いが込められています。声を出し、呼吸を合わせ、三色がひとつになる——その瞬間の熱気と団結を象徴する言葉となりました。

体育の部では、1・2年次生による「人文字」が披露され、模様がぴたりと揃った瞬間には大きな歓声が上がりました。団席を彩る「応援看板」は、遠目の華やかさと近くで見る緻密な描写の両方が楽しめ、観る人の目を引きつけました。「応援」では、衣装パートが制作した衣装をまとった応援パートが迫力ある演技を繰り広げ、会場を熱気で包みました。各クラスが団カラーに合わせて制作したTシャツも印象的で、クラスと団の絆が鮮やかに表現されていました。

文化の部では、1・2年次生による劇形式のステージ発表が行われました。どのクラスも演出や演技に工夫を凝らし、



観客を物語の世界へと引き込む力のある舞台を披露しました。展示では、教室を彩るフォトスポットの設置に加え、お化け屋敷や縁日などの企画もあり、来場者を楽しませるだけでなく、もてなす側の生徒たちも自ら楽しもうとする姿が印象的でした。委員会による展示も見応えがあり、吹奏楽部の演奏や書道部のパフォーマンスには、会場から温かな拍手が送られていました。「勝高のど自慢大会」も大いに盛り上がり、生徒会メンバーの活躍が鼓山祭全体をしっかりと支えてくれました。

生徒一人ひとりが役割を担い、仲間と協力して創り上げた鼓山祭は、今年もかけがえのない時間となりました。挑戦と工夫を重ねて進化し続ける鼓山祭。そして、そうした生徒たちの姿が、勝山高校の未来を明るく照らしてくれるようを感じます。最後に、開催にあたりご支援・ご協力をいただいたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。



2年次生修学旅行

6月10日（火）～13日（金）の3泊4日の日程で、2年次生は関東方面へ修学旅行に行ってきました。前半は雨模様ではありましたが、予定通りの行程を無事終えることができました。

初日は飛行機で移動し、東京到着後はコース別研修で、TEPIA先端技術館、江戸東京たてもの園、国会議事堂などを訪れました。また、夜にはお台場の美しい夜景を見ながら優雅に夕食をいただきました。2日目は各班が事前に立てた計画を元に班別自主研修を行い、貴重な体験となりました。3日目は東京ディズニーリゾートへ行きました。多くの生徒が夢の国を閉園まで満喫していました。最終日は浅草寺での自由散策、月島でもんじゃ焼きの昼食後、飛行機で帰途に就きました。



計画通りにいかない想定外の出来事もありましたが、生徒たちは知恵を出し合い、協力しあうことでトラブルを乗り越えていました。旅行を通して様々な発見・学びを得て、大きく成長できたのではないかと思います。

最後まで皆元気に過ごすことができ、思い出に残る修学旅行になりましたこと、ご協力くださいました全ての皆様に感謝申し上げます。



活躍する部活動

運動部

硬式野球部

- 令和7年度美作総体硬式野球の部 第3位
- 令和7年度秋季岡山県高等学校野球大会 出場

卓球部

- 第72回美作地区高等学校総合体育大会卓球の部 男子第3位
- 第64回岡山県高等学校総合体育大会卓球の部学校対抗 男子第5位
- 第72回中国高等学校卓球選手権大会男子学校対抗 出場

陸上競技部

- 第72回美作地区高等学校総合体育大会 女子200m 第2位 宗森 葵生(2年)28.17(-2.4m)

ソフトテニス部

- 第72回美作地区高等学校総合体育大会 ソフトテニスの部 男子第3位
- 岡山県高等学校新人ソフトテニス大会(ダブルス) 美作地区予選会(春) 女子 吉田・小林ペア 準優勝
- 山本瑠・栗栖ペア 第3位
- 第64回岡山県高等学校総合体育大会(団体) 男子 ベスト16
- 令和7年美作地区高等学校ソフトテニス選手権大会 女子 吉田・福井ペア 優勝
- 山本瑠・栗栖ペア 阪本・山本侑 第3位
- 岡山県高等学校新人ソフトテニス大会(ダブルス) 美作地区予選会(秋) 女子 吉田・福井ペア 優勝
- 令和7年度 岡山県高等学校新人ソフトテニス大会(団体) 男子ベスト16

男子バレーボール部

- 第72回美作地区高等学校総合体育大会 バレーボールの部 第3位
- 第64回岡山県高等学校総合体育大会 出場

女子バレーボール部

- 第79回岡山県高等学校春季バレーボール選手権大会 美作支部予選会 優勝
- 第72回美作地区高等学校総合体育大会 バレーボールの部 第3位
- 第64回岡山県高等学校総合体育大会 県ベスト16

サッカー部

- 第72回美作地区高等学校総合体育大会サッカー競技 第1位
- 第64回岡山県高等学校総合体育大会サッカー競技 兼 令和7年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技岡山県予選 県ベスト28
- 令和7年度美作地区高等学校サッカー選手権大会 第2位

バスケットボール部

- 第5回OBA U-18バスケットボールリーグ2025 兼 第80回国民体育大会バスケットボール競技 岡山県選考会 出場
- 第72回美作地区高等学校総合体育大会 バスケットボール競技 出場
- 令和7年度 第78回全国高等学校バスケットボール選手権大会岡山県予選会 出場

バドミントン部

- 令和7年度岡山県高等学校バドミントン競技春季大会 兼 第79回国民体育大会第1次予選会 男子個人戦(シングルス) ベスト32 青木 瑞是、奥田 大智

女子個人戦(シングルス)

ベスト64 本多仁衣奈

- 第72回美作地区高等学校総合体育大会バドミントン競技 男子団体戦 第2位
- 女子団体戦 第3位(男女ともに県大会出場)
- 男子個人戦(ダブルス) 第2位 青木・奥田木ペア
- 第5位 阪本・谷本ペア
- 第8位 斎藤・伴ペア
- 第9位 赤木・中尾ペア
- 第13位 谷口・藤田ペア

女子個人戦(ダブルス)

第3位 川上・本多ペア

第7位 増本・三船ペア

- 第64回岡山県高等学校総合体育大会バドミントン競技会 男子団体戦 ベスト16
- 女子団体戦 ベスト16

男子個人戦(ダブルス)

ベスト64 青木・奥田ペア 阪本・谷本ペア

女子個人戦(ダブルス)

ベスト64 川上・本多ペア

男子個人戦(シングルス)

ベスト32 青木 瑞是

女子個人戦(シングルス)

ベスト64 本多仁衣奈

- 第44回全日本ジュニアバドミントン選手権大会 岡山県予選会 出場

令和7年度岡山県高等学校バドミントン競技

秋季大会美作地区予選会

男子団体戦 第2位

女子団体戦 第3位(男女ともに県大会出場)

男子個人戦(ダブルス)

第4位 赤木・中尾ペア

第5位 谷口・藤田ペア

第9位 高島・田淵ペア

女子個人戦(ダブルス)

第3位 川上・本多ペア

第9位 三船・渡邊ペア

第10位 坂元・森ペア

水泳競技

- 第53回岡山県高等学校水泳競技大会(児島地区公園水泳場25mプール)

森脇 亮雅(1年)

男子100m背泳ぎ 第2位(59.57)

男子200m背泳ぎ 第3位(2:07.29)

串馬 葵(3年)

女子200mバタフライ 第4位(2:38.94)

黒瀬 蒼空(3年)

男子200m自由形 第5位(2:01.77)

森脇 聰太(3年)

男子200mバタフライ 第5位(2:13.83)

- 第64回岡山県高等学校総合体育大会

兼 第93回岡山県高等学校選手権水泳競技大会

兼 第73回中国高等学校選手権水泳競技大会

岡山県予選会(倉敷市屋内水泳センター)

黒瀬 蒼空(3年)

男子1500m自由形 第5位(18:15.85)

男子200m個人メドレー 第6位(2:23.47)

森脇 聰太(3年)

男子100mバタフライ 第8位(1:06.57)

男子200mバタフライ 第7位(2:19.72)

串馬 葵(3年)

女子200mバタフライ 第4位(2:50.10)

森脇 亮雅(1年)

男子100m背泳ぎ 第4位(1:02.43)

男子200m背泳ぎ 第4位(2:15.63)

令和7年度部活動 主な成績

黒瀬 蒼空(3年)・森脇 聰太(3年)・

森脇 亮雅(1年)・串馬 龍希(1年)

男子4×200mフリーリレー 第5位(8:34.32)

- 第73回中国高等学校選手権水泳競技大会

(鳥取県営東山スイミング)

黒瀬 蒼空(3年)・森脇 聰太(3年)・

串馬 龍希(1年)

出場

第68回岡山県高等学校新人水泳競技大会

兼 第13回中国高等学校新人水泳競技選手権大会

岡山県予選会(倉敷市屋内水泳センター)

森脇 亮雅(1年)

男子100m背泳ぎ 第1位(1:02.44)

200m背泳ぎ 第1位(2:14.26)

- 第13回中国高等学校新人水泳競技選手権大会

(山口きらきら博記念公園水泳プール)

森脇 亮雅(1年)

男子100m背泳ぎ 第5位(1:01.95)

200m背泳ぎ 第4位(2:12.34)

文化部

吹奏楽部

- 第66回岡山県吹奏楽コンクール

高等学校 小編成の部 銀賞

書道部

- 第26回高校生国際美術展

感謝状授与

- 第71回岡山県児童生徒書道展

佳作 二若 美琴(1年)

入選 宮田 愛実(3年)・宮本 奈々(3年)

光本 聖(3年)・辻本 実桜(2年)

脇田 大空(2年)・桐原 瑞衣(2年)

福島 未彩(2年)・日谷 あゆ(1年)

- 第55回全国教育書道展

秀作賞 光本 聖(3年)

奨励賞 宮田 愛実(3年)・宮本 奈々(3年)

辻本 実桜(2年)・脇田 大空(2年)

桐原 瑞衣(2年)・福島 未彩(2年)

日谷 あゆ(1年)・二若 美琴(1年)

- 真庭市主催「川夢で遊ぼう」書道パフォーマンス参加

(於: 勝山ストリートパーク川夢 10月5日)

・岡山県高校生書道展 出品

英会話同好会

- 第28回真庭地区中学校・高等学校

英語スピーチコンテスト

高校生スピーチの部 第1位 立石 心紅(2年)

※参加者3名のため、1位のみ表彰

美術部

- 令和7年度高校生美術コンクール

キャラクターイラストレーション部門

金賞 小谷 実冴(2年)

- JR姫新線中国勝山駅開業100周年記念事業

臨時記念列車ヘッドマークデザイン

石田 さち(2年)・古林 大空(2年)

小谷 実冴(2年)・藏富 彩花(3年)

(令和7年3月16日運行)

- 湯原温泉露天風呂の日 第4回アート企画展

湯桶ペイント にサンプル作品制作で協力

石田 さち(2年)・小谷 実冴(2年)

(於: 湯原温泉 / 令和7年6月21日~6月29日)

- 第12回美々っと展 作品展示

(於: カフェ&ギャラリーであ

／令和7年10月18日~11月5日)

ダンス部

私たちダンス部は、生徒の要望や学校部活動の魅力向上のため、昨年度部員3名から成るダンス同好会を発足し、活動を行ってきました。今年度に入り、既存部員含む2年次生4名、1年次生5名の計9名が入部し、生徒総会での承認を受けて2025年7月に新たにダンス部が誕生しました。

週に3日、2時間の活動のうち、毎回1時間は基礎練習を行っています。膝を使いながら全身でリズムを取るアップやダウン、地面に四角形を描くように左右交互に足を動かすボックスステップなど、基礎的な練習を集中的に行います。

現在は中学校でダンスの授業が必修化し

ており、部員全員が一度はダンスを踊った経験こそあるものの、基礎的なステップもままでならない部員がほとんどです。基礎をしっかりと習得したうえで、自己表現ができる「ダンサー」になるべく、地道な練習を繰り返しています。

練習はスポーツセンターをお借りしています。利用されている方から、「勝高にダンス部ができるんですね。頑張ってますね。」と声をかけていただいたことがあります。歴史の浅い部であるにも関わらず、こうして地域の方に見守られながら活動ができていることを嬉しく思います。

先日10月4日(土)には鼓山祭文化の部が

開催され、ステージ発表も行いました。表紙がそのステージの写真です。ダンス部として初めての舞台でしたが、お客様に楽しんでもらいたいとの思いで精一杯表現しました。

地域の方に見守られ、支えられながら活動しているダンス部。これからも地域のために何ができるのかを考えながら、日々の練習に励んでいきたいと思います。



進学実績

《令和6年度3月合格者状況》※()は既卒で内数

就職実績

国立大学

| 大学名 | 合計 |
|-----------|-----------|
| 室蘭工大 | 1 |
| 鳥取大 | 1 |
| 島根大 | 2 |
| 岡山大 | 5 |
| 徳島大 | 1 |
| 愛媛大 | 2 |
| 高知大 | 1 |
| 合計 | 13 |

公立大学

| | |
|-----------|-----------|
| 長野大 | 1 |
| 滋賀県立大 | 1 |
| 公立鳥取環境大 | 3 |
| 島根県立大 | 2(1) |
| 岡山県立大 | 1 |
| 新見公立大 | 1 |
| 周南公立大 | 1 |
| 高知工科大 | 1 |
| 合計 | 11 |

私立大学

| 大学名 | 合計 |
|-----------|-----------|
| 東洋大 | 1 |
| 金沢工大 | 2 |
| 淑徳大 | 1 |
| 同志社大 | 1 |
| 京都産業大 | 5 |
| 京都外大 | 1 |
| 龍谷大 | 8 |
| 追手門学院大 | 4 |
| 摂南大 | 1 |
| 近畿大 | 2 |
| 大阪電気通信大 | 1 |
| 大阪経大 | 2 |
| 大阪工大 | 3 |
| 嵯峨美大 | 1 |
| 関西医療大 | 1 |
| 関西国際大 | 1 |
| 関西福祉大 | 1 |
| 関西外大 | 2 |
| 神戸学院大 | 1 |
| 武庫川女子大 | 1 |
| 合計 | 91 |

専門学校等

| 大学名 | 合計 |
|-----------|-----------|
| 神戸芸術工科大 | 1 |
| 環太平洋大 | 1 |
| 吉備国際大 | 5 |
| 岡山商大 | 5 |
| 岡山理大 | 14 |
| 就実大 | 4 |
| 清心女子大 | 1 |
| 川崎医療福祉大 | 2 |
| 美作大 | 7 |
| 岡山医療専門職大 | 2 |
| くらしき作陽大 | 1 |
| 福山平成大 | 1 |
| 広島工大 | 4 |
| 広島修道大 | 2 |
| 松山大 | 1 |
| 合計 | 91 |

私立短期大学

| | |
|-----------|----------|
| 大手前短 | 1 |
| 合計 | 1 |

公務員

| 就職事業所 | 合計 |
|-----------|----------|
| 真庭消防署 | 1 |
| 合計 | 1 |

民間事業所

| | |
|--------------------|----------|
| 株式会社 藤岡エンジニアリング | 1 |
| ヘルメス下中野 | 1 |
| 株式会社 山田養蜂場 | 1 |
| 株式会社 サウンドクルー | 1 |
| 株式会社 ペルゴ | 1 |
| 合計 | 5 |



事務局だより

会報賛助金納入のお願い

このたび、同窓会報第57号を発行することができました。同窓会として、このような会報誌を会員の皆様にお届けすることで、母校を懐かしんでいただき、更には母校の発展、会員の親睦に繋がればと考えております。そこで、同窓会活動をさらに活性化し、より充実した会報をお届けするため、令和7年度分として会報賛助金(1口3,000円)のご協力をお願い申し上げます。近年、同窓会の活動費が年々減少しているため、昨年同様、皆様には1口3,000円のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

封筒内に振込み用紙を同封しておりますので、お近くのコンビニ、または郵便局からご入金していただきますようお願い申し上げます。



PayPay、auPAY
など各種Payをご利用いただけます

同窓会を開催しませんか？

「学年同窓会を開きたいな～」「最近みんな会ってないな～」「クラブOB会を開きたいな～」といったお声にお応えし、同窓会が各種同窓会開催を応援いたします。(有料)

対象者 同窓会員(現旧職員含む)に限ります。

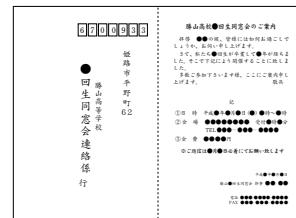
内 容 ①宛名タックシールの作成

②同窓会開催の案内ハガキ(右見本)
の作成(往復ハガキ含む)

※出欠の集計、会費の入金管理も行うことが可能です。

※個人情報の管理のため住所データの提供は行いません。

案内はがき
見本



往復はがき

編集後記

今年度の同窓会活動については、本部・東京支部・関西支部・岡山支部・湯原支部と各支部での活動が活発に行われました。また、OGによる芸術鑑賞会も行われ、同窓生とのつながりをより深く感じることができた1年になりました。変化の激しい時代ですが、同窓会の良さが生き続けていると感じた1年でした。